

WBF SYSTEMS POLICY

1. 序文

1. この規程の目的は、WBF の選手権試合で全ての競技者が公正かつ同等な機会が与えられるよう適正な運営と十分な管理を保証すると共に、システムの進歩や変革にも適切な配慮を行い、プレイヤーが WBF の試合でシステムサマリーに関する準備と提出に関して、何を期待されているかを明確にすることにある。
2. この規程に関する追加、変更は原則として公表の4ヵ月後に有効となる。
3. この文書におけるハイカードポイントはミルトン・ワーク・ポイントである。
4. 以下の記述で「弱い」は9点以下を意味し「強い」は16点以上を意味する。

2. 規程

2.1 HUM システム

この規程において、HUM (Highly Unusual Method) とは以下の一つ以上の特徴を持つ全てのシステムを意味する。

- ① パートナー間の了解事項によりオープニングポジションでのパスが通常1の代のオープニングビッドにより示される以上の強さを示す。但し、弱い手を含む場合があっても良い。
- ② パートナー間の了解事項により、1の代のオープニングビッドがパスより弱い可能性がある。
- ③ パートナー間の了解事項により、1の代のオープニングビッドが7 HCP 以下の可能性がある。
- ④ パートナー間の了解事項により、1の代のオープニングビッドが特定のスーツに3枚以上または2枚以下のいずれかを示す。
- ⑤ パートナー間の了解事項により、1の代のオープニングビッドが特定のスーツに3枚以上か、もう一つのスーツに3枚以上のいずれかを示す。

例外：ストロングクラブ又はストロングダイヤモンドシステムにおける1の代のマイナー

2.2 システムのクラス分け

認識と取り扱いを容易にするために、システムサマリーは以下に示す手段のうちの一つ以上により識別を行う。

- ① WBF のカラーステッカーを貼る
- ② 該当する色の名前を（手書きまたはタイプにより）書く

③ コンベンションカードの該当する色の欄にチェックマークをつける

具体的なクラス分けの内容は以下の通り

Green ナチュラルシステム

Blue フォーシングクラブ／フォーシングダイヤモンド

1♣/1◇がアーティフィシャルで 13HCP 以上を示し、常にフォーシング

Red この範疇には Green, Blue, Yellow に該当しないすべてのシステムが含まれる。

Red1 1♣が、ナチュラルな♣スート、特定の強さのバランスハンド、ストロングクラブ相当のハンドの3つのタイプのうちの1つを示す、又は

1♣オープンに対しアーティフィシャルレスポンスを使用する

Red2 1の代のオープニングビッドの意味が位置やバル関係によって変わるシステム（NT オープンの強さや、スーツの長さは除く）、又は競り合いになりうる状況で「弱い」又は「複数の意味を持つ（弱い手を含むかどうかは無関係）」コンベンショナルビッドを使用するシステム、又はオープニングビッドが別のスーツへのトランスファーになるシステム

Yellow HUM (Highly Unusual Method) 上記定義の通り

2.3 Brown Sticker コンベンション及びトリートメント

以下に示すコンベンション又はトリートメントは **Brown Sticker** に分類される。

a) 2♣から 3♠までの全てのオープニングビッドで、

i) 9HCP 以下の可能性があり、かつ

ii) 4枚以上の既知のスートを保証しない

例外：弱い時は常に既知の4枚以上のスートを示す場合。既知の4枚スートを示さない場合は 13HCP 以上の手を保証しなければならない。

(説明：弱い時には既知の4枚以上のスートを示し、強い時には 13HCP 以上の手を示す場合は **Brown Sticker** コンベンションではない)

例外：どちらかのメジャーのウィーク 2 を示す 2 の代のマイナーのオープン。

16HCP 以上の強い手を含む可能性の有無は無関係。相手方は、これに対するディフェンスを項番 6 に従い使用することができる。

b) 1 の代のナチュラルなスートのオープンに対するオーバーコールが 4 枚以上の既

知のスートを保証しない

例外：ナチュラルなノートランプのオーバーコール

例外：強い手を示す全てのキュービッド

例外：相手方の既知のスートのジャンプ・キュービッドがパートナーにストッパーがあったら 3NT をビッドすることを要求する場合

c) 2 又は 3 の代の「弱い」2 スーターを示すビッドで、取り決め上その内の一つのスートが 3 枚以下の可能性があるもの

d) サイキックビッドでシステムにより保護されているか、要求されているもの

e) 上記の制限はストロングアーティフィシャルオープンに対するコンベンショナルなディフェンスや、**Brown Sticker** 及び **HUM** に対するディフェンスには適用されない。

f) ダブルトンやシングルトンの可能性があるノンフォーシングの **1♣** オープンは定義上ナチュラルである

上記 2.2 のシステムの識別手段の他に、1 つ以上の **Brown Sticker** コンベンションを使用するペアはその旨をコンベンションカードに明記しなければならない。

2.4 暗号シグナル

ビディングシステムやコンベンションに関する上記の制約の他に、プレイヤーはシグナルによって伝えられるメッセージがディフェンス側のみが知り得るある情報に基づいているために、ディクレアラーからは隠されてしまうようなシグナル方式を使ってはならない。（すなわち、暗号シグナルは禁止されている）

2.5 ランダムなオープン

8HCP 未満の手でオープンし、その後の展開の取り決めがないような了解事項は禁止されている。

3. WBF の試合で使用できるシステム

使用可能なシステムの観点から WBF の試合は 3 つのカテゴリーに分けられる。

カテゴリー 1: バミューダボウル、ベニスカップ、世界チーム選手権のミクストチーム

,

これらの試合では、ノックアウト・ステージに限り十分な開示を前提に全てのシステムの使用が許されるが、HUM システムや Brown Sticker Convention を使用するチームは試合要項に従ってコンベンションカードや Brown Sticker Announcement Form (付録 1)を事前提出する義務があり、さらにラインアップ提出に際して以下の制約を受ける。

HUM システムを使うペアのいるチームが、HUM を使わないチームと対戦する場合は HUM を使うチームが常に 'Away' チームとなり先にラインアップを提出する。

HUM を使うペアのいるチーム同士が対戦する場合は（そのペアが出場するか否かに関わらず）ラインアップ提出の制約は適用されない。

カテゴリー 2: WBF のルール委員会が指定するチーム戦

HUM システムは使用不可。

十分な開示を前提にペア当たり 3 つまでの Brown Sticker コンベンションが使用できるが、これを使用するペアは試合要項に従ってコンベンションカード及び Brown Sticker Announcement Form を事前提出する義務がある。同時に全ての Brown Sticker コンベンションに対する、使用に耐えるサンプルディフェンスを提出しなければならない。このサンプルディフェンスはコンベンションカードの一部と見なされ、相手方がテーブルで参照することができる。

カテゴリー 3: カテゴリー 1 及び 2 に含まれない全ての WBF の選手権試合

HUM システム及び Brown Sticker コンベンションは使用不可。

4. システムサマリー

Yellow(HUM)システムの使用が許される全てのカテゴリー 1 のチーム戦では、HUM システムを使用する全てのペアは（通常のコンベンションカードと補足シートの期限内の提出の他に）試合要項に従って、競技会の冒頭に英語の完全なシステムサマリーを提出する必要がある。

Green, Blue, Red の各システムを使用するペアは全ての WBF 競技会の冒頭に英語の完全なシステムサマリーを提出することを奨励されている。

トーナメントディレクター及び上告委員会が決定を下す場合、完全なサマリーを事前提出したペアはテーブルで行われた説明に関して疑義が生じた場合、このサマリーに基づいた決定を期待する事ができる。

5 コンベンションカード及び補足シート

十分な開示の原則に基づき、競技者はディフェンスの準備が必要な全てのコンベンション

及びトリートメントの完全な開示を求められている。このためにコンベンションカードの他に補足シートを使用する。

補足シートの使用に関しては特に厳密な制限はなく、コンベンションカードと照合し易いように記入項目に適切な番号付けがされていればよい。文字は読み易くなければならず、番号付けされた記入項目は見やすい太線で区切られていなければならない。特にカテゴリー2及び3の試合では簡潔に記入するのが望ましいが、そのために開示が不十分になってはならない。

ディフェンスを準備する必要がある全てのコンベンションやトリートメントの一覧を **WBF** コンベンションカードの前面右側の部分に記入しなければならない。また、これらに関する完全な説明（競り合いになった場合の取り決めを含む）をコンベンションカードの外側又は内側の適切な場所に記入するか、又はスペースが足りない場合は補足シートの先頭に番号をつけて記入しなければならない。

コンベンションカードの前面右側には以下のものが記入されていなければならない。

- ①全てのアーティフィシャルオープン（ストロング **1♣**及び**2♣**を除く）
- ②ナチュラルオープンに対する弱いコンベンショナルレスポンス
- ③1の代のナチュラルなスートのオープンに対する全てのコンベンショナルなディフェンシブビッド（全ての2スーターオーバーコールは詳細な説明が必要、このための最良の方法は‘**Two Suiters**’と記入して補足シート上の比較的若い番号を振り、詳細な説明は補足シートに記入することである）

ここに記入されるべきビッドを使用するペアが記入を怠り、その結果相手方がベストコントラクトに到達出来なかった場合は、相手方がディフェンスを準備することが出来なかったために損害を被ったと裁定される可能性が強い。さらに記入を怠ったペアは手続き上の罰則を課される可能性がある。

HUM システム又は **Brown Sticker** コンベンションを使用するペアは自分達のビッドとその後の展開（特に競り合い時の展開）に関する完全な記述を提示する特別な義務を負う。完全な記述がされていないオークションを行った場合は、前項で述べた事前の開示がなされなかったという前提でスコア調整や罰則が適用される。

各トーナメントの試合要項にはシステムサマリーとコンベンションカード（及びシステムに関する問い合わせ先の電話及びファックス番号又は **E** メールアドレス）の提出先と提出期限が明示されている。この期限に間に合うように準備を行うことはプレイヤー、NPC、

各国のブリッジ連盟、各ゾーン組織の共同責任である。期限に間に合わなかった場合は試合要項に記述されている罰則が自動的に課される。システムに関する問い合わせはシステム委員会の委員長若しくは試合要項に示されている代行者に対して行われるべきである。

システムの提出期限後にコンベンションカードや補足シートを変更する場合は以下の規定が適用される。

- ①項目や記述の削除はシステム委員会の委員長又はその代行者に申請することにより認められる。
- ②取り決めの変更や追加は、新しい取り決めが **Brown Sticker** でなければ通常認められる。新しい取り決めをいつから使用できるかはシステム委員長の判断によるが、通常は変更内容を他の競技者に通知してから2日目の朝から使用できる。
- ③**Brown Sticker** コンベンションを他の **Brown Sticker** コンベンションに置き換えることや、新しい **Brown Sticker** コンベンションを追加することは一切認められない。

全ての競技者は、上記の規定は厳格に適用されることを認識しなければならない。

6. Yellow(HUM)システム及び Brown Sticker コンベンションに対するディフェンス
カテゴリー1のチーム戦では、HUM システムに対するディフェンスに関して以下の規定が適用される。

- ① HUM システムを使用するペアと対戦するペアはそのセグメント開始に先立ち、HUM システムに対するディフェンスのサマリーの（判読容易な）コピーを2部、試合要項に述べられている場所に期限内に提出する。このサマリーは相手方のコンベンションカードの一部と見做される。
- ② HUM システムに対するディフェンスを準備する場合、**Green, Blue, Red** の何れかのシステムを使用するペアは、自分達のシステムを変更することができる。（オープニングコールを含む）HUM システムを使用するペアはオープニングコールを変更することはできない。
- ③ HUM システムを使用するペアは、セッション開始に先立ち相手方の HUM に対するディフェンスに対するカウンターディフェンスの（判読容易な）コピーを2部準備しなければならない。この際 HUM を使用するペアはシステムを変更してはならない。

カテゴリー1及びカテゴリー2のチーム戦では **Brown Sticker** コンベンションに対するディフェンスに関して以下の規定が適用される。

相手方のシステムの **Brown Sticker** に該当する部分に対するディフェンスのサマリーを準備することができる。このサマリーの（判読容易な）コピーを2部、そのセグメントの

開始に先立ち、試合要項に述べられている場所と期限に相手方に提出しなければならない。
このサマリーは相手方のコンベンションカードの一部と見做される。

7. 1 チームに許されるシステムの数

カテゴリー1の試合ではチーム毎に最大4つまでの Red 又は Yellow システムが許されるが、そのうち Yellow は最大3つまででなければならない。

バルネラビリティーにより2つのシステムを使い分ける場合も全体で1つのシステムとして数える。

ペアを組む2人はビディング及びカードプレイに関して同じシステムを使わなければならない。

付録1 : Brown Sticker Opening Bid Announcement Form

付録2 : Brown Sticker Overcall Announcement Form

付録3 : WBF Alerting Policy

付録4 : WBF Psychic Bidding Guidelines